

平成28年度

教育委員会事務点検・評価報告書

平成29年6月

竹原市教育委員会

目 次

1	教育委員会の事務の点検・評価制度について	1
2	平成28年度教育委員会議開催実績	2
3	評価の方法	5
4	平成28年度事業の点検及び評価	7
	(1) 学校・教育環境の充実	
	(2) 生涯学習の推進	
	(3) スポーツ・レクリエーションの振興	
	(4) 文化・芸術の振興	
	(5) 青少年健全育成の推進	
	(6) 人材育成の推進	
5	評価委員の点検・評価	17
6	参考資料	19
	Ⅰ 平成28年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果	
	Ⅱ 平成28年度 新体力テスト結果等	
	Ⅲ 平成28年度 図書館・美術館利用状況等	

1 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年度から、全ての教育委員会は、毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることも規定されています。

竹原市教育委員会では、この法律に基づき、教育委員会の事務の点検・評価を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化を進めてまいります。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (平成19年6月27日一部改正)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 平成28年度教育委員会議開催実績

教育委員会 開催年月日	開催回数 定例臨時別	議案 番号	件 名
H28. 4. 21	第4回 定例会	29	竹原市立学校学校評議員の委嘱について
		30	竹原市結核対策委員会委員の委嘱について
		31	竹原市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について
		32	竹原市学校給食センター給食調理業務民間委託業者選考委員会設置要綱の一部を改正する訓令案
		報告 協議	学校施設の耐震診断結果の公表について
H28. 5. 26	第5回 定例会	33	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について
		34	竹原市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
		35	竹原市教育相談員の委嘱について
		36	たけはら美術館協議会委員の任命について
		37	竹原市社会教育委員の委嘱について
		38	竹原市公民館運営審議会委員の委嘱について
		39	平成27年度教育委員会事務点検・評価報告書案について
		40	教育長の職務代理者を定める規則を廃止する規則案
		41	竹原市教育委員会会議規則の一部を改正する規則案
		42	竹原市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則案
		43	竹原市教育委員会公印規則の一部を改正する規則案
		44	教育長に対する権限委任規則の一部を改正する規則案
		45	竹原市教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則案

H28. 6. 21	第 6 回 定例会	46	教育長職務代理者の指名について
		47	平成 2 8 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		48	竹原市特別支援教育相談委員会委員の委嘱について
		49	竹原市特別支援教育相談委員会推進員の委嘱について
		50	竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
		報告 協議	小中一貫教育について
H28. 7. 28	第 7 回 定例会	51	平成 2 8 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		52	語学指導等を行う外国青年の任命について
		53	招致外国青年就業規則の一部を改正する規則案
		54	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区保存計画の一部を改正する告示案
		報告 協議	教育委員会会議の議事録について
		報告 協議	小中一貫教育について
H28. 8. 25	第 8 回 定例会	55	定例会議会に提案される教育委員会関係の議案について
		56	平成 2 8 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		57	平成 2 9 年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について
H28. 9. 29	第 9 回 定例会	58	平成 2 8 年度準要保護児童及び生徒の認定について
H28. 10. 27	第 1 0 回 定例会	報告 協議	小中一貫教育について
H28. 11. 24	第 1 1 回 定例会	59	平成 2 8 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		60	定例会議会に提案される教育委員会関係の議案について
		報告 協議	小中一貫教育について
H28. 12. 22	第 1 2 回 定例会	61	学校医の委嘱について

H29. 1. 26	第 1 回 定例会	1	竹原市教育委員会委員の辞職の同意について
		2	平成 2 8 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		3	竹原市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令案
		報告 協議	小中一貫教育について
H29. 2. 9	第 2 回 定例会	4	職員の任免その他の人事について
		5	定例会議に提案される教育委員会関係の議案について
		6	定例会議に提案される教育委員会関係の議案について（平成 2 8 年度教育委員会関係補正予算案）
		7	定例会議に提案される教育委員会関係の議案について（平成 2 9 年度教育委員会関係当初予算案）
		8	平成 2 9 年度竹原市学校教育ビジョンについて
		報告 協議	小中一貫教育について
H29. 3. 16	第 1 回 臨時会	9	平成 2 8 年度末・平成 2 9 年度始教職員の人事について
		10	竹原市教育委員会永年勤務職員表彰について
H29. 3. 23	第 3 回 定例会	11	職員の任命その他の人事について
		12	竹原市立公民館主事の任命について
		13	竹原市嘱託学芸員の委嘱について
		14	市立竹原書院図書館長の任命について
		報告 協議	小中一貫教育について

3 評価の方法

(1) 施策・事業の名称

前年度の教育要覧に記載された施策・事業について、6つの項目に分けて記しています。

(2) 内容

施策・事業の主要目標及び事業内容を記しています。

(3) 取組結果と自己評価

「取組結果」は、前年度の評価委員からの意見を踏まえ、ねらいや目標達成のためにどのような取組を行ったか、その結果どのような成果があったかを整理した上で、「自己評価」として、次の4点から総合的な評価を行っています。

① 必要性

現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

教育施策や運営方針にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 目標達成度

目標の達成状況を評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかとも検討します。

④ 総合評価

各評価項目を勘案し、4段階総合評価を行います。

A	ねらいや目標は、十分達成された。
B	ねらいや目標は、ほぼ達成された。
C	ねらいや目標は、十分達成できなかった。
D	ねらいや目標は、まったく達成できなかった。

※ 平成27年度事務点検評価報告書の評価委員の意見は次のとおりでした。

[外国語指導助手配置事業]

小学校の外国語活動の充実を図ることを目的に、英語教科の免許を有する中学校教諭について、竹原中学校区の小学校と兼職させ、配置しているとのことだが、外国語指導助手による英語教育を進めていくだけでなく、英語教育に関わる教員の指導力もより高めてほしい。

[小・中学校教育用ICT整備事業]

小学校の公開研究会の際、児童が授業でICT機器を楽しく使いこなしている様子を見ることができ、授業に関わる興味関心が向上していると感じた。また、ICT支援員を中心に教員

に対して活用方法などの声かけを行うことにより、充実が図られており、教員が児童生徒の関心を引き付けることができた実感したという手ごたえもあるようである。今後も、ICT機器の活用については、各学校の推進リーダーを中心に教員の研修を充実させるとともに、利用計画を立てながら、教科によっては、活用しやすいもの、逆に活用しにくいものがあると思われるので、それぞれの教科、授業のどの場面で活用することが児童生徒にとって実力がつくか研究し、より効果的に活用してほしい。

[生涯学習]

全体的には充実していると思う。知の循環型社会の構築に向けて、今後の方向性を検討するに当たり、地域の理解を得ながら、公民館が担う生涯学習と協働組織との連携を図り、多くの人が公民館に行ける居場所づくりに取り組んでほしい。

(4) 課題と平成29年度の取組方向

項目ごとに課題と平成29年度の取組方向を記しています。

(5) 評価委員による評価

3名の学識経験者の方による外部評価を行っています。

4 平成28年度事業の点検及び評価

(1) 夢をもち、子どもが輝く教育の実現を目指して、「就学前教育」「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校」「充実した教育環境づくり」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
小・中学校施設耐震化事業 17,716千円	<p>【主要目標】児童生徒が1日の大半を過ごす場所であり、災害時には避難場所として使用される学校施設の安全確保を図る。</p> <p>【事業内容】児童生徒の安全な教育環境を確保するため、校舎・柔剣道場非構造部材耐震化工事(竹原小学校舎・仁賀小学校舎・竹原西小学校舎(旧館・管理棟)・中通小学校舎・竹原中学校舎・忠海中柔剣道場・賀茂川中柔剣道場)を行う。</p>	平成27年度に吉名小学校舎を除き、小・中学校の耐震化完了したため、引き続き、校舎・柔剣道場非構造部材耐震化工事(竹原小学校舎・荘野小学校舎・仁賀小学校舎・竹原西小学校舎(旧館・管理棟)・中通小学校舎・竹原中学校舎・忠海中柔剣道場・賀茂川中柔剣道場)を実施した。 吉名小学校舎を除き、市内全小・中学校の非構造部材の耐震化が完了した。	吉名小が平成30年度に小中一貫校に移転後、耐震化がすべて完了する。
小・中学校施設改修事業 26,719千円	<p>【主要目標】建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んだ学校施設の計画的な改修を図る。</p> <p>【事業内容】児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール濾過機修繕工事(大乗小・中通小・東野小・荘野小・吉名小・吉名中)、特殊建造物定期調査(各校)、水道量水器取替(旧忠海東小・旧忠海西小・竹原西小・東野小・吉名小・忠海学園)及び給排水施設整備工事(竹原中)を行う。</p>	学校施設の計画的な改修を図り、児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール濾過機修繕工事(大乗小・中通小・東野小・荘野小・吉名小・吉名中)、特殊建造物定期調査(各校)、水道量水器取替(旧忠海東小・旧忠海西小・竹原西小・東野小・吉名小・忠海学園)及び給排水施設整備工事(竹原中)を行った。	学校施設は、建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んでいる。児童生徒の安全な教育環境を確保するため、今後も計画的な改修を進めていく。学校からの修繕要望や各種法定検査により、指摘のあった事項については、迅速に対応する。 平成29年度は、中通小屋体屋根防水改修工事等を行う。
小中一貫教育推進事業 1,051千円	<p>【主要目標】夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】吉名中学校区において、一体型小中一貫教育を推進するため、講演会及び先進地視察を行い、また準備委員会において、校名、校歌、校章等を協議し、決定する。</p>	吉名中学校区において、設立準備委員会(3回開催)を行い、校名・校章・校歌等の協議を行った。校名については、「吉名学園」に決定した。 また、設立準備委員会日より(No.4～No.6)を発行し、保護者・地域に周知を図った。	吉名中学校区において、小中一貫校の平成30年4月開校を目指し、引き続き設立準備委員会を開催し、校歌、通学路等の協議を行う。
小中一貫校施設整備事業 280,385千円	<p>【主要目標】夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】吉名中学校区において、一体型小中一貫校の整備を行う(校舎増築、校舎大規模改修、屋内運動場、プール改修、小学校遊具設置、外構工事等)。</p>	吉名中学校区において、平成30年4月に供用開始する小中一貫校「吉名学園」の整備工事(校舎増築、校舎大規模改修、屋内運動場、プール改修、小学校遊具設置、外構工事等)を平成28年8月から実施している。	引き続き、平成30年4月供用開始を目指し、工事の進捗を図っていく。
学校給食運営事業 90,440千円	<p>【主要目標】市内全小・中学校に安全・安心な学校給食を提供するとともに、食育を推進する拠点として運営を行う。</p> <p>【事業内容】平成21年度に学校給食センターを整備し、平成22年9月から民間委託による調理業務を実施している。平成24年度から市内全小・中学校への給食提供を開始し、平成28年度は13校に約2千食を提供している。</p>	学校給食センターから市内全小・中学校に安全で安心な学校給食を提供するとともに、給食を教材とした食育(給食時間の学校訪問指導・給食試食会の開催等)や、給食に積極的に地場産物を取り入れることで地産地消の利点を指導した。 今年度は、民間委託給食調理業務の選定を行い、安全で効率的な運営の確保に努めた。民間のノウハウも取り入れて、アレルギーマッチ給食の親配をなすための仕組みを作成し、市内全小・中学校に示した。	安心安全な給食の提供及び地産地消については概ね目標を達成できた。引き続き学校給食を食育の教材として、児童生徒の食への興味関心が高まる取組を実施していく また、29年度も引き続きアレルギーマッチ等、多様化する要望に対応するため、調理委託業者や学校等と連携を深め、給食の質の向上を目指していく。

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
食育推進事業 3,222千円	<p>【主要目標】 学校、地域及び行政が連携協力し、学校給食を教材として、日本の特徴である四季折々の「旬」や、地産地消の利点を学びながら、食事の準備ができる子を育成するため、家庭での調理体験や食材選びなどの実践力を高める食育推進を図る。</p> <p>【事業内容】 地場産物を使用した料理コンテストの実施。優秀作品等レシピ集の作成・配布。</p>	<p>家庭を巻き込んだ継続的な食育推進として、家庭での調理や、家庭の食事の継承、家族との共食の大切さに気づくことなどを目的し、料理コンテストを実施した。</p> <p>児童生徒や保護者が親しみをもち、取り組んでもらうためコンテスト名を「竹ちやん料理コンテスト」とし、地場産物や地場産業を生かした家庭のおすすすめ料理を募集した。今年度のテーマを「朝ごはん」として672作品の応募があった。</p> <p>「たけはら食育未来会議」とは共催し、審査会の協力を得た。また後援企業（アヲハタ・峠下・JA三原・たけはらケーブルネットワーク）とたけはら食育未来会議より特別賞を選出してもらい、多くの児童生徒の料理を評価することができた。</p> <p>受賞作品のレシピ集を作成・配布し、ホームページでも紹介するほか、後援企業であるたけはらケーブルネットワークの協力で、最優秀作品とタネット賞を受賞した児童生徒が、料理方法を紹介する様子を撮影し、放送している。</p>	<p>基本的な生活習慣の定着と、食事の準備ができる子の育成の両面から、引き続き「朝ごはん」をテーマに「平成29年度竹ちやん料理コンテスト」を実施する。</p> <p>また、早起き朝ごはんの定着させるとともに、強化週間を設けるなどし、学校や家庭への働きかけを行っていく。</p> <p>家庭で調理をする機会を増やすため、「ひろしま給食100万食プロジェクト」の普及啓発を目指し、取組を行っていく。</p>
外国語指導助手配置事業 12,186千円	<p>【主要目標】 児童生徒の英語力向上と国際理解の深化及び教職員の英語指導における資質向上を図る。</p> <p>【事業内容】 A L T（外国語指導助手）を3名雇用し、小学校の外国語活動又は中学校の英語科の授業で教員の補助をする。</p>	<p>市内幼稚園1園、小学校9校、中学校4校にA L T（外国語指導助手）を3名から4名に増員し、児童生徒の英語力とコミュニケーション能力の向上、国際理解の充実を図ることができた。また、A L Tとのティームティーチングを行うことを通して、小・中学校の外国語活動および英語教育の教員の指導力向上を図ることができた。また、外国語教育推進リーダー研修にA L Tも参加させることにより、教員のみならずA L Tの指導力向上にもつなげることができた。</p>	<p>来年度は、A L Tによる授業を充実させるとともに、英語だけの1泊2日のキャンプにおいてA L Tによるワークショップ等を実施し、児童生徒の英語力向上と国際理解の一層の充実を図る。</p>
小・中学校教育用ICT整備事業 27,995千円	<p>【主要目標】 I C T機器を活用した思考力・表現力を育てる授業の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 タブレット型端末整備（利用場所：パソコン教室、普通教室ほか） パソコン台数 小学校：244台、中学校：140台 電子黒板等I C T機器整備（利用場所：パソコン教室、普通教室ほか） 電子黒板台数 小学校：49台 中学校：22台</p>	<p>平成21年度から電子黒板の整備を推進し、I C T活用教育に重点的に取り組んできた。更なる発展を目指し、タブレット型端末の導入に向け、市内2校において実証実験を行い、平成27年度に、タブレット型端末及び授業・学習支援ソフトウェアを市内小・中学校の全てに整備した。</p> <p>本年度は定着期として、教員がタブレット型端末の効果的な活用方法を習得できるように、I C T支援員を3名配置した。また、各校のI C T活用教育推進リーダーを対象とした年に3回の研修会や指導主事による学校訪問指導の実践的指導を通して、I C Tを活用した児童生徒の思考力を育てる授業の充実を図ることができた。</p> <p>その結果、公開研究会ではタブレット型端末を活用した授業が行われ、分</p>	<p>引き続き電子黒板やタブレット型端末の活用を通じ、児童生徒が主体的・協働的に学び、思考力や表現力を向上させるように、取組を推進していく。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
竹原っこ夢プロジェクト事業 1,000千円	<p>【主要目標】 児童生徒が夢と希望をもち、将来に向けて自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育む。</p> <p>【事業内容】 児童生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて支援を行う。 小学校2件、中学校1件を対象とする。</p>	<p>小学校2校、中学校1校において本事業を実施することができた。 児童生徒が夢を語り合い、郷土に対する親しみを感じ、主体的に生きていくための力を育てる取組を行った。</p> <p>【竹原西小学校】 「学校にあるピオトープを復活させ、生き物が棲む自然豊かな学校にした」という児童の思いから、植生について講師から学んだり、ピオトープについて調べたりして、自分たちの手で生き物や植物が豊かに生きるピオトープづくりを行った。</p> <p>【仁賀小学校】 「学校のお客様をおもてなしの心で迎えたい」「プログラミングでロボットを動かしてお客様をおもてなしたい」という思いから、「仁愛ロボット おもてなしプロジェクト」と銘打ち、仁賀小学校に来てくださった方々に手作りのロボットを使い、おもてなしの心で対応し、感謝の気持ちを伝えることができた。</p> <p>【思海中学校】 大久野島にたくさんの方々が訪れるようになったことをきっかけに、「志海の魅力についても外国の方々に知ってほしい」という思いから、志海の史跡や観光名所などについて調べ、英語版のパンフレットにまとめた。そのパンフレットを観光客へ配布したり、手作りの掲示板でお知らせしたりする等、情報発信する活動を進め、郷土のよさを再発見するとともに、郷土への親しみを感ずることができた。</p>	平成29年度は、実施なし。
理科補助員配置事業 408千円	<p>【主要目標】 小学校の理科授業の充実・活性化を図るとともに、教員の理科授業に関する指導力を向上させる。</p> <p>【事業内容】 理科が得意な人材を小学校理科授業（5・6年生）に活用し、観察・実験活動等における教員の支援や、効果的な実験等の演示や体験活動などを行う。</p>	<p>市内2小学校（大乗小学校・吉名小学校）に理科観察実験補助員を配置した。各学年25回（1回について3時間の支援）の活用で、理科室の整備をはじめ、理科授業における観察・実験の補助等を通して理科教育の充実・活性化を図ることができた。</p> <p>児童アンケートの結果によると、「観察実験を通して問題を解決するようになった。」「理科の授業がわかるようになった」の項目について、いずれも肯定的回答が100%であった。</p>	理科の授業における課題発見・解決学習を通して児童の問題解決力は育ってきている。引き続きその中核となる観察・実験における児童への細やかな支援を行うとともに、教員の観察・実験等に係る指導力の向上も図っていく。
小学校公開授業研究会推進事業 1,570千円	<p>【主要目標】 小学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 総合的な学習、各教科及び各領域での教育公開研究会を開催する。</p> <p>【実施校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 思海小学校 (10月19日) ○ 大乗小学校 (10月14日) ○ 竹原小学校 (10月28日) ○ 中通小学校 (9月21日) ○ 竹原西小学校 (9月30日) ○ 東野小学校 (9月20日) ○ 荘野小学校 (10月7日) ○ 仁賀小学校 (9月16日) ○ 吉名小学校 (10月21日) 	<p>市内小学校9校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。</p> <p>各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させ、確かな学力を育成するための授業改善に向け、協議を深めることができた。また、電子黒板やタブレット型端末等のICT機器を積極的に授業に取り入れ、学力向上に向けた効果的な活用について提案した。組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。</p>	学力等の児童の実態や課題を明らかにし、その解決に向け、授業改善を生かした取組が推進されるよう教育研究会をより充実していく。また、教育研究指定校における先進的な実践を普及させ、市内全体にその取組の成果が浸透させていく。

施策・事業名	内容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度取組方向
中学校公開授業研究会推進事業 470千円	<p>【主要目標】 中学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 基礎学力の定着を図るため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施校】 ○ 忠海中学校 (10月19日) ○ 竹原中学校 (10月13日) ○ 賀茂川中学校 (10月12日) ○ 吉名中学校 (10月21日)</p>	<p>市内中学校4校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。</p> <p>各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させ、確かな学力を育成するための授業改善に向け、協議を深めることができた。また、電子黒板やタブレット型端末等のICT機器を積極的に授業に取り入れ、学力向上に向けた効果的な活用について提案した。組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。</p>	<p>学力等の生徒の実態や課題を明らかにし、その解決に向け、授業改善を生かした取組が推進されるよう教育研究会をより充実していく。</p> <p>また、教育研究指定校における先進的な実践を普及させ、市内全体にその取組の成果が浸透させていく。</p>
学校緑化推進事業 650千円	<p>【主要目標】 小・中学校において学校緑化を推進し、学校の美化や景観の向上を促し、心に安らぎと潤いのある教育環境を創造するとともに、児童生徒への環境に対する関心を高める。</p> <p>【事業内容】 児童生徒を中心に計画的・組織的な校内の緑化活動を進めるとともに、家庭をまきこんだ取組に広げる。</p> <p>【実施校】 ○ 小・中学校全校</p>	<p>市内小中学校において、年間を通して、計画的に緑化活動に取り組み、学校の美化や景観の向上を通して児童生徒の心の安らぎと潤いのある環境を創造することに努めた。学校部門では、児童生徒の主体的な活動による緑化活動が多く見られるようになり、家庭部門では、市内小・中学校から150点の応募があり、学校での取組を家庭で実践する児童生徒も増えてきている。</p> <p>最優秀賞・・・吉名小学校 優秀賞・・・竹原西小学校、東野小学校 特別賞・・・竹原小学校、竹原中学校</p>	<p>各学校の緑化活動をさらに充実させるためにも、児童生徒が主体的に緑化活動に取りこまることができるよう教科・領域との関連を考慮した計画の策定を目指す。</p>
幼稚園教育公開研究会推進事業	<p>【主要目標】 幼稚園教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 基本的な生活習慣を身に付けさせ豊かな心を育むため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施園】 ○ 竹原西幼稚園 (9月16日)</p>	<p>「体を動かすことを楽しむ子どもを育てる」を研究主題とし、進んで体を動かして遊ぶようになるために、発達段階に即した運動遊びの年間計画を作成し、活動の内容や援助の工夫を図ることができた。また、園内研修会を計画的に実施し、教職員の指導力を向上に努めた。公開研究会では、市内の学校の教職員はもとより、市外の幼稚園、地域の方々、保護者の方々の多くの参加をいただき実施することができた。</p>	<p>『遊び 学び 育つひろしまっ子!』推進プランの趣旨を踏まえ、園児の豊かな心を育むための指導方法や場の設定等について幼稚園教職員研修の充実を図る。</p>
学力検査事業 1,786千円	<p>【主要目標】 生徒の学力を把握するとともに、課題と取組を明らかにする。</p> <p>【事業内容】 標準学力調査を実施し、その結果を分析し、学力向上を図る。</p>	<p>市内小・中学校において(小学校1年生は除く)業者による標準学力検査を実施した。</p> <p>各校において検査問題や意識調査等の結果の分析を行い、明らかになった児童生徒の課題を把握し、授業改善に生かすとともに、課題克服に向けた組織的な教育研究を進めた。また、他の学力調査等との比較を行い、より精度の高い分析を行いながら取組を進めることで、より効果的な取組を進めることができた。</p>	<p>標準学力調査を継続して実施し、その結果の分析を通して明らかにした課題を改善するために、さらなる授業改善を目指し、学力向上を図る。</p>
体力テスト事業 371千円	<p>【主要目標】 生徒の体力を分析し、課題と取組を明らかにする。</p> <p>【事業内容】 全年体力テストを実施し、その結果をもとに体力運動能力向上を図る。</p>	<p>竹原市の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基に、今後の体力向上のための重点指導内容や全国の体力向上に係る取組の好事例を交流する等研修を行い、各校の取組の充実を図ることができた。</p> <p>市内小・中学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を受け、自校の課題や改善に向けた取組をまとめ、計画的に児童生徒の体力向上を推進することができた。</p>	<p>市内小学生、中学生の体力の課題について焦点化するとともに、その改善に向けて重点的に取り組む体力運動能力向上計画を作成し、計画的に実施する必要がある。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
総合的な学習の時間等の推進事業 963千円	【主要目標】 小・中学校における総合的な学習の時間の授業を充実させる。 【事業内容】 地域の方々、特技のある方を講師として招聘するとともに生徒の職場体験学習等を推進する。	平成30年度の「広島版『学びの変革』アクション・プラン」の全県展開に向け、各学校において児童生徒がより主体的に学ぶことができるよう課題発見・解決学習の過程を取り入れた総合的な学習の時間年間指導計画の見直し及び改善を行い実践した。また、地域資源を生かした人材を講師と招き、学習の充実を図ることができた。 中学校では、6月13日から6月17日の5日間、第2学年生徒が市内の約130の事業所で職場体験学習を行った。事後の生徒アンケートでは、コミュニケーション能力や主体的に取り組む意欲、郷土愛について事前アンケートよりも肯定的に自己評価をする生徒が多く、成果が現れている。	見直し・改善を行った総合的な学習の時間の年間指導計画をさらにブラッシュアップさせる。また、単元全体のどの時間に、どのような講師を招聘するか、さらに効果的な活用を探っていく。 職場体験学習においては、事後の学校生活との関連を図り、体系的なキャリア教育を進める必要がある。
教育相談事業 4,040千円	【主要目標】 学校で対応できない複雑化・多様化するいじめ、不登校等の教育問題について相談・支援業務を実施し、生徒・生徒等の健全育成を図る。 【事業内容】 教育相談室において、不登校やいじめ問題等に対する相談活動を行う。業務の一部を民間委託し、休日・夜間も相談業務を行う。	教育相談室に1名の非常勤教育相談員を配置し、不登校をはじめとする生徒指導上の問題行動に係る相談・支援を受けている。不登校児童生徒の学校復帰に向けての学習支援等を行った。生徒の立ち直り支援に向けての活動も行った。また、中学校3年生の進路についても、保護者や学校、関係機関と連携を持って、確実な進路保障を行うなど指導支援することができた。	教育相談室と学校、家庭との連携を密にし、児童生徒への学校復帰支援や立ち直り支援を三者で行い、より効果的なものへとしていく。

(2) 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
公民館運営事業 16,710千円	【主要目標】 生涯学習の基本理念である、生涯「いつでも」「どこでも」「だれでも」を推進するため、自由に学習機を選べる学習ができること、その学習成果が地域社会において適切に評価されるような社会をめざして諸条件を整備する。 【事業内容】 ひとつづくり・まちづくりの学習拠点施設として、社会教育・生涯学習推進事業として各種講座を開設する。 ○ その他各種学級講座 5月～3月 ○ 公民館まつり・産業文化祭 《実施時期》 11月～3月 ○ 公民館役員研修等 《実施時期》 5月～3月 ○ 子育て支援事業 《実施時期》 5月～3月 ○ スポーツ大会・スポーツ教室 《実施時期》 5月～3月 ○ 地域環境活動事業 《実施時期》 6月～3月 ○ 公民館だより発行 《実施時期》 毎月1回	生涯学習の理念に基づき、住民ニーズを把握して学習機会や情報提供を行っている。 また、公民館職員の資質向上のため、毎年、独自研修を実施している。今年度は地域の防災拠点としての公民館の役割について、各公民館における今後の参考とするべく研修会を平成28年7月21日に実施した。 今年度は、忠海東公民館の取組が第69回優良公民館表彰（全国で73館）を受けた。	引き続き、独自研修の実施及び広島県教育委員会等が実施する研修会に参加して、公民館職員等の資質の向上を図るとともに、社会教育・生涯学習を推進していく。
成人式事業 630千円	【主要目標】 新成人者を対象とした実行委員会委員を公募により募集し、成人者となったことの自覚を促し、保護者及び関係者（多くの市民）と共に祝福する。 【事業内容】 ○ 式典（市長メッセージ、来賓祝辞、新成人誓いの言葉） ○ アトラクション 【開催時期】 平成29年1月7日（土） 【開催場所】 竹原市民館ホール	新成人者による実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を行った。実行委員会による会議を重ね、成人者の心に残り人生の糧となるような成人式を実施した。 親や恩師への感謝の手紙や、恩師等からのビデオレターの披露を行い、大変好評であった。また、実行委員会で作成したプログラムや案内状の作成、ロビーの飾りつけを行い、手作り感のある成人式ができた。	平成29年度においても、成人式事業を実施する。

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
自動車文庫事業 1, 255千円	<p>【主要目標】 市立竹原書院図書館は、公共図書館として、全ての市民に図書を提供する環境整備を図るため、距離的、時間的、その他の事情によって直接図書館を利用することが困難な市民に、できるだけ図書の提供が均等化するように努める。その有効な方策として自動車文庫「わかたけ3号」を運行し、図書の提供の拡大と充実を図っている。平成16年度より、市内全保育所・小学校へも巡回し、読書の推進を図っている。その他、市民への読書活動啓発として、市内のイベントに参加し、PR・貸出・返却・本の読み語りを実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 39ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回。 ○ 自動車文庫に約2,500冊（成人、児童向けを各50%）を積載して貸出・返却を行う。 	<p>39ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回し、貸出、返却および読みたい本のリクエスト受付などを行った。</p> <p>小学校巡回時には、わかたけ号積載の本以外に約500冊の絵本や児童書・紙芝居など、児童生徒が多くの本に触れ、自分で選べる借りることができるよう対応した。また、短い休憩時間内で、貸出、返却処理ができるよう職員を増員し、対応した。</p> <p>全保育所・小学校・中学校・放課後児童クラブへの団体貸出しを行い、各所へ本を搬送した（毎月本の入れ替えを行った）。</p> <p>A 自動車文庫（移動図書館車）を多くの方々に、利用していただく機会として市内のイベント（電源開発1日開放デー・ふくし健康まつり）に参加し、貸出・返却を行った。</p> <p>福祉施設をステーションに組み入れ、巡回し、入所者・作業者への本の貸出を行った。</p> <p>ステーションまで来られない方や巡回日・返却日に都合が悪い方などへの対応として、忠海公民館に暫定的に返却箱を置き利用状況の把握を図った。</p> <p>小学新1年生に『手と手をつないで』をプレゼントした。同時に読書カードを配布した。そのカードに1年間に読んで本を記入し、図書館に提出してもらい表彰した。</p> <p>A</p>	<p>ステーションまで来られない方や巡回日・返却日に都合が悪い方や巡回日に都合が悪い方などへの対応として、暫定的に設置した返却箱の利用が月10冊前後あることから、他の公民館・支所への配置を検討していく。</p> <p>新1年生へのブックスタースタート事業は終了するが、読書カードの配布と、表彰は継続して行う。</p>
新1年生ブックスタースタート事業 298千円	<p>【主要目標】 読書に興味を持ち、持続的な読書習慣を家族とともに作り出す。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学新1年生に絵本『手と手をつないで』を読書意欲の継続と向上を目的に読書カードと共に配布する。 ○ 1年間（平成29年2月末日まで）に多く読んで児童を表彰する。 	<p>小学新1年生に『手と手をつないで』をプレゼントした。同時に読書カードを配布した。そのカードに1年間に読んで本を記入し、図書館に提出してもらい表彰した。</p> <p>A</p>	<p>新1年生へのブックスタースタート事業は終了するが、読書カードの配布と、表彰は継続して行う。</p>

(3) だれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
学校体育施設開放事業 1, 622千円	<p>【主要目標】 学校等の体育施設（屋内運動場・夜間照明・グラウンド）を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持、体力増進に関心を高める。</p> <p>【事業内容】 学校体育施設（市内小・中学校12校、旧忠海東小学校、旧忠海西小学校、忠海高等学校、竹原高等学校）に管理指導員を置き、地域住民のスポーツ活動を推進する。</p>	<p>学校開放施設16施設（市内小・中学校12校、旧小学校2校、高校2校）を利用状況に応じて、各90日から160日間開放し、各種競技を通じて、地域住民の健康増進や競技力の向上、生涯スポーツの推進を図った。</p> <p>A</p>	<p>学校等と連携して、体育施設（屋内運動場・夜間照明・グラウンド）を開放することにより、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に努める。</p>
スポーツ推進委員活動事業 433千円	<p>【主要目標】 スポーツの振興のため、地域住民に対しスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導・助言を行う。また、各種研修会・研究大会等にも参加し、相互の情報交流と資質の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市スポーツ推進委員総会 ○ 尾三地区スポーツ推進委員協議会定期総会及び交流競技大会 ○ 尾三地区スポーツ推進委員研修大会 ○ 広島県スポーツ推進委員研修会 ○ 広島県女性スポーツ推進委員研修会 ○ 広島県総合マネジメント研修会 ○ 広島県新任スポーツ推進委員研修会 ○ 各地域のスポーツ振興の指導・助言 	<p>各種研修会等にも出席するとともに、ロードレース大会等の各種スポーツ大会やスポーツイベントの運営協力等、スポーツ振興に寄与した。</p> <p>平成28年度は、広島県スポーツ推進委員研究大会が三次市で開催され、本市からも推進委員が同大会に参加して、資質の向上に努めた。</p> <p>B</p>	<p>スポーツ推進委員が積極的に研修会や研究大会等に参加し、相互の情報交流や資質向上を図っていく。</p>

施策・事業名	内容	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
各種体育大会・行事運営事業 5,540千円	<p>【主要目標】 生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、住民一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持・増進、体力づくりに関心を高めるため、各種教室、大会行事等を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市女性バレーボール大会 ○ 市民バレーボール大会 ○ 竹原市民体育大会 ○ 竹原駅伝競走大会 ○ 竹原ロードレース大会 ○ 芸南学童水泳大会 ○ 竹原市少年野球大会 ○ 竹原市少年サッカー大会 ○ ボールゲームフェスタ in 竹原 	<p>少年野球大会、芸南水泳大会等青少年スポーツ活動有成事業や、竹原駅伝競走大会等、社会体育行事を開催し、竹原ロードレースでは、14部門に800名ものエントリーがあった。市外からの参加者も多く、県内の恒例行事として定着している。</p> <p>また、市民体育大会も41回を教え、12競技部門で健康保持増進や親睦が図られた。</p> <p>チャレンジデーでは、市内事業所への協力依頼や報道機関への情報提供をした事で、14,107人の参加（参加率51.9%）を得ることができた。</p> <p>日本トップリーグ連携機構から派遣していただいたトップアスリートによる様々なボールを使ったスポーツイベント「ボールゲームフェスタ in 竹原」を総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドにおいて2月19日（日）に開催した。</p> <p>親子でコミュニケーションをとるながらボールを使って様々な「あそび」を体験する「ボールであそぼう！」に32組65名が、4競技（バレー・ラグビー・サッカー・ソフトボール）のボールゲーム「キッズチャレンジ」には88名が参加した。</p> <p>総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド体育施設において、多目的グラウンドスタンドの雨漏り防止修繕工事を行い、利用者の利便性の向上を図った。施設の管理については、指定管理者であるNPO法人バンブースポーツクラブにおいて、各種スポーツ教室・大会の実施や住民交流事業を開催し、体育・スポーツ振興を図った。</p> <p>また、市内小・中学校のグラウンド照明修繕等を行い、施設の利用環境の向上を図った。</p>	<p>各種体育大会・行事を体育協会等の関係団体と連携・実施し、スポーツ振興を図る。</p>
体育施設管理維持事業 5,341千円	<p>【主要目標】 市内の体育施設を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しみ、自己の健康保持・増進について関心を深める。</p> <p>【事業内容】 市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事、スポーツ・レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し、健康・体力づくりの推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド ・ 体育館アリーナ……バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道、バドミントン、ソフトテニス、フットサル ・ 多目的グラウンド……ソフトボール、サッカー、野球、ゲートボール、グラウンドゴルフ ・ テニスコート ・ トレーニングルーム <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市営相模場 ○ スポーツ広場……忠海・小梨・大井・宿根・田万里スポーツ広場 ○ 学校体育施設 ・ グラウンド等……ソフトボール、野球、サッカー、テニス ・ 屋内運動場……バレーボール、ソフトバレー、バドミントン、バスケットボール、ピーチバレー、卓球 	<p>総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド等の体育施設の適切な維持管理により、スポーツ環境の整備・充実に努める。</p>	<p>総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド等の体育施設の適切な維持管理により、スポーツ環境の整備・充実に努める。</p>
プロアスリートスポーツ教室事業 242千円	<p>【主要目標】 竹原市子どもたちがスポーツを通じて夢や目標をもち、取組むことにより、競技力の向上と広域拡大を目指す。また、指導者もトップ選手等の指導方法を学ぶことができ、指導力の向上・育成にもつながり、競技団体の組織強化と地域の競技活動の促進を図る。</p> <p>【事業内容】 NPO法人トップス広島協力を得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を開催する。 (NPO法人トップス広島加盟団体) サンフレッチェ広島、広島東洋カープ、JTサンダース、ワクナガレオリック、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、NTT西日本広島ソフトテニスクラブ、中国電力陸上競技部、コカ・コーラウエストレッドスパークス</p>	<p>今回で6回目となるプロアスリート教室は、平成28年11月13日（日）にJパワーグラウンドでサンフレッチェ広島によるサッカー教室を開催し、54名の参加があり、サッカー競技のジュニアスポーツ育成、指導者の資質向上を図った。</p> <p>全国大会等に出場した子どもたちを広報だけばらに掲載・紹介することにより、スポーツを通じて夢や希望を持ち、取り組むことの大切さをPRした。</p>	<p>NPO法人トップス広島協力の協力を得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を実施し、競技力の向上や人材育成に努める。</p>

(4) 竹原の歴史文化や町並みが守られ、活かされることを目指して、「歴史文化を守り、伝える、はぐくむづくり」「文化財及び歴史資料の保存・活用」「町並みの保存・活用・魅力づくり」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
<p>文化財保存事業</p> <p>46,997千円</p>	<p>【主要目標】 伝統的建造物群保存地区、建造物、史跡、天然記念物、埋蔵文化財、埋蔵文化財、美術工芸品、伝統的芸能など、文化的価値を有する文化財の保存と新たな文化財の発掘に努め、文化財の保存と歴史的景観の向上を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 伝統的建造物群保存修理事業 ○ 市内指定文化財保存管理事業 ○ 遺跡発掘調査委託事業 ○ 保存対策検討事業 ○ 歴史的風致維持向上事業 ○ その他文化財保存事業</p>	<p>○ 伝統的建造物群保存修理事業 ・ 修理事業を4件実施した。 ○ 市内指定文化財保存管理事業 ・ 伝統的建造物群地区シロアリ対策事業を26件実施した。 ・ 春風館頼家住宅、復古館頼家住宅の消防設備点検補助を実施した。 ・ 指定文化財等の管理を文化財保護団体等への委託により実施した。 ・ 文化4施設(松坂邸・光木邸・森川邸・歴史民俗資料館)を指定管理者によって管理を行い、各種イベントとの連携等により活用を促進した。 ○ 遺跡発掘調査委託事業 ・ 開発行為に伴う試掘調査を実施した。 ○ 保存対策検討事業 ・ 伝統的建造物群保存地区の啓発用パンフレットを作成した。 ○ 歴史的風致維持向上事業 ・ 藤井酒造の保存修理工事の助成を行った。 ・ 歴史・文化交流施設整備検討事業を実施した。 ・ 吉井家住宅調査研究事業を実施した。 ○ その他文化財保存事業 ・ 竹原市史編さん記録保存事業 「中国新聞」(S7~20, 22)の見出しをデータ化した。 ・ 文化財防火訓練 伝統的建造物群保存地区で実施した。 ・ 歴史民俗資料館のリニューアル テーマに沿った展示替えを行った。 ・ たけはら歴史体験講座 子どもたちに歴史を紹介し、文化財修理を体験してもらった。</p>	<p>引き続き文化財の保存と歴史的景観の向上を図るため、次の事業に取り組む。 ○ 伝統的建造物群保存修理事業 ・ 修理・修景事業を3件実施する。 ○ 市内指定文化財保存管理事業 ・ 春風館頼家住宅、復古館頼家住宅の消防設備点検補助を実施する。 ・ 指定文化財等の管理を文化財保護団体等への委託により実施する。 ○ 遺跡発掘調査委託事業 ・ 開発行為に伴う試掘調査を実施する。 ○ 歴史的風致維持向上事業 ・ 歴史・文化交流施設整備検討事業を実施する。 ○ その他文化財保存事業 ・ 竹原市史編さん記録保存事業 ・ 文化財防火訓練 ・ たけはら歴史体験講座</p>
<p>文化振興事業</p> <p>1,606千円</p>	<p>【主要目標】 竹原市総合文化祭を竹原市文化団体連盟及び竹原市芸術文化振興協議会と、共催して開催するなど、市内の文化活動の推進を図る。また、美術展示会を同様開催するなどして、芸術振興を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 竹原市総合文化祭開催 ○ 竹原市美術展開催 ○ 市内小・中学校図画・書道展 ○ 美術展示会・ユース発表会等開催 ○ 東京藝術大学生・大学院生による竹原芸術イベント開催</p>	<p>○ 竹原市総合文化祭 10月22日(土)～11月13日(日) ・ 竹原市文化団体連盟30団体のうち26団体が展示・舞台発表等参加 ○ 竹原市美術展 11月1日(火)～6日(日) ○ 市内小・中学校図画・書道展 11月8日(火)～13日(日) ・ 芸術文化活動支援事業については、6団体への支援を行った。 ○ 東京藝術大学生・大学院生による竹原芸術イベント開催 ・ 町並み一帯を活用した展示や、小・中学生との創作交流を行った。 ・ ワークショップでは、作家に教わる喜び・作る喜び等、芸術の楽しさを体験してもらった。</p>	<p>引き続き、竹原市総合文化祭を共催して開催し、文化活動の振興を図る。 竹原市の文化芸術の発展・普及に寄与することを目的に事業を行う。</p>
<p>常設展開催事業</p> <p>3,027千円</p>	<p>【主要目標】 当館所蔵の作品をテーマ別に紹介する所蔵品展と併せて、池田勇人元首相の写真展示を開催していく。</p> <p>【事業内容】 ○ 所蔵品展 会期：4月1日(金)～6月26日(日) ○ 所蔵品展 会期：7月1日(金)～9月25日(日) ○ 所蔵品展 会期：9月30日(水)～12月4日(月) ○ 所蔵品展 会期：12月9日(金)～2月5日(月)</p>	<p>テーマ別に所蔵品を紹介した。 フェイクスブック・ツイッター・ケーブレードなどを活用して情報発信を行った。</p>	<p>フェイクスブックや新聞などを活用した情報発信に引き続き努めるとともに、他施設との連携、展示のあり方についても検討していく。</p>

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
芸術体験事業 20千円	【主要目標】 作品の製作過程を体験することで、芸術に対して関心を深める。 【事業内容】 ○ 絵付けをしよう	素焼きのお雛様の色付けを行いオリジナルの置物を作った(素焼きの干支四に絵付けを行った)。 参加者は、熱心に楽しく取り組み、焼き上がり後も喜ばれていた。	学校と連携した芸術体験事業を実施することにより、文化芸術の普及に努める。
特別展開催事業 1,989千円	【主要目標】 現代の京都工芸を代表する作家の作品を展覧し、最先端の日本の工芸の現状を広く周知するとともに、美術館の有効活用や魅力向上を図る。 【事業内容】 京都工芸展を開催し、陶芸・染色・漆芸・織物・金工など 作家約30人の作品を紹介し、現代の工芸を展覧する。	平成29年2月18日(土)から3月26日(日)まで京都工芸を代表する作家30名の陶芸・染織・漆芸・金工・木工・人形・硝子など、多岐にわたる分野の展覧を行った。 関連事業として、「お箸づくり」・「織ってみよう」のワークショップと一般向けのギャラリートークを2回開催した。 小学生向けのギャラリートークを開催した。 9月14日から18日に開催した。	来年度は、竹原市に新しく寄贈された作品などと混ぜながら展示して美術館の有効活用に努める。
泉美展開催事業 365千円	【主要目標】 広く市民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、芸術文化の向上を図る。 【事業内容】 開催日 9月14日(水)～9月18日(日)	入賞作品と地元の入選作品を文化創造ホールに展示した。 地元からの出品者の入選も多かった。	来館者数が増加するよう引き続き続き、フェイスブック等を活用して情報発信を行っている。 2階展示室で開催する。

(5) 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを旨として、「青少年がいまいきいきと活動できる環境づくり」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成29年度の取組方向
竹原市青少年指導員設置事業 195千円	【主要目標】 学校外における青少年の問題行動が行われやすい場所を巡回し、状況を把握するとともに、指導し、学校・警察関係機関(団体)等との連携を図り、青少年の健全育成を図る。 【事業内容】 ○ 市内巡回指導 ○ 学校・警察関係機関(団体)等との情報交換をし、青少年の健全育成を図る。 《実施時期》 7月～3月	各中学校区のグループで日程を調整し、各地区の公園、その他青少年の問題行動が行われやすい場所を巡回し、問題の早期発見、適切な指導を行い青少年の健全育成を図った。	竹原市の青少年の現状を事前研修で把握した上で、効果的な巡回を実施する。
子ども会育成事業 220千円	【主要目標】 子ども会育成団体及び関係機関の自主運営の促進を図り、子ども会組織の自立並びに、子ども会活動の円滑な運営を推進し、青少年の健全育成を図る。 【事業内容】 ○ 竹原市子ども会育成連合会理事会 《実施時期》 5・12月 ○ 竹原市子ども会育成連合会総会 《実施時期》 6月 ○ 竹原市子ども会育成連合会創作大会 《実施時期》 2月	5月19日(水)、12月15日(木) 理事会実施 6月25日(土) 総会 1月28日(土) 竹原市子ども創作大会実施 6月の総会後に行われる研修会について、今年度は広島大学「遊技団」サークル学生に講師を依頼し、ジャグリング等の体験を行った。昨年度まで研修会の参加児童数が少ないという課題があったため、今年度は、総会・実技研修会の案内のほかに実技研修会単独の案内を配布した。その結果、児童と保護者の参加数が昨年年度の16倍に増加した。児童と保護者間の交流により地域の子ども会活動の活性化を図れた。	理事会、総会について新理事と旧理事の参加率がよくなった。理事の都合を考慮した日程の調整や、理事の活動内容の周知を行い、活動への参加の呼びかけを行っていく。

(6) 人材育成の推進

<p>施策・事業名</p>	<p>内容等</p>	<p>取組結果と自己評価</p>	<p>課題と平成28年度の取組方向</p>
<p>学校教育における人材育成事業</p>	<p>【主要目標】 教職員一人ひとりの能力・適性等に応じた人材育成を図るための研修の充実を図る。 【事業内容】 ・校長による人材育成計画の作成と竹原市教育委員会との協議 ・指導主事による学校訪問指導 ・竹原市教育委員会主催の研修会の実施</p>	<p>人材育成を視点とした市教委主催の研修会及び年間80回を超える指導主事等による学校訪問指導を計画的に実施し、学校経営基盤の確立、学校経営への参画意識の醸成、教職員一人ひとりの能力や適性に応じた指導力の向上を図ることができた。 また、校長が作成した人材育成計画に基づき、各種研修会へ計画的に教職員を推薦した。</p>	<p>ライセンスフェーズに応じて、教職員としての資質能力を効果的に向上させるために、研修内容の充実を図る。また、研修内容を持ち帰って校内で効果的に活用できるように、研修の内容や方法を工夫する。 また、授業力の一層の向上を図るため、効果的な学校訪問指導を行う。</p>
<p>生涯学習・社会教育における人材育成事業</p>	<p>【主要目標】 生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、研修の充実を図る。 【事業内容】 ○「親の力」をまなびあう学習プログラムを活用した研修の実施 ○公民館職員研修の実施 ○図書館職員研修への参加、各種行事への参加 ○文化担当職員の研修への参加</p>	<p>公民館の館長・主事・運営委員を対象に、基礎的な知識や社会教育関係事業の企画・立案・実施に係る技能等を習得し、職員の資質の向上や情報交換を図るとともに、学習プログラムの企画（実践）力を身につけるため、職員研修を実施した。 「親の力」をまなびあう学習プログラムについては、保育所・幼稚園・小・中学校（PTA）等からの要望に基づき実施している。平成28年度は、平成29年2月24日（金）に仁賀小学校において保護者、教員を対象に実施した。図書館では、広島県教育委員会や広島県立図書館等が開催する図書館職員研修に参加し、情報収集や業務に活かしている。 また、乳幼児への読み語りや小中学生を行うブックトークに伴う職員間の研修等を行い、図書館行事に対応できる人材の研修に務めている。 文化担当職員の情報収集や資質向上を図るため、伝統的建造物群保存協議会総会、研修会等に参加し、文化財保存における課題や今後のあり方等について研修を行った。</p>	<p>引き継ぎ、生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、職員研修の確保に努め、資質の向上や人材交流につなげていく。</p>

5 評価委員の評価

【評価委員】	広島大学大学院名誉教授	岡 東 壽 隆
	元公立小学校校長	國 竹 鈴 子
	元PTA会長	亀 尾 善 隆

教育委員会の事務の点検及び評価を行うにあたり、平成29年5月10日に学識経験者3名により、次のとおり点検及び評価をいただきました。

○ 平成30年4月から吉名学園が新たな学校種である義務教育学校として開校するが、小中学校9年間の連続した一貫教育である中で、転校、転入などの事態も想定した編成が望まれる。小中一貫の推進に当たっては、知・徳・体の一層の向上を目指すとともに、吉名学園としての特色を出せるような取組が大切である。

○ 外国語指導助手(ALT)を平成28年9月から1名増員して4名の配置としたことで、外国語活動における学習環境の充実が図られ、各学校に対するALTの関わりが多くなり、教員だけでなく児童生徒との信頼関係も深まってきている。また、児童生徒は、外国語に大変興味関心を持ち、楽しんで授業に取り組んでいる様子が見受けられることから、一定の成果はあると評価できる。今後も外国語の教科化に向けて、充実した取組をして欲しい。

また、ALTを活用し、今後、市独自の英語検定及びイングリッシュキャンプを実施することとしているが、外国語に対する興味を多くの児童生徒が持つきっかけづくりとなるよう望んでいる。さらには、児童生徒との関わりを大事にした、日々の授業の積み重ねによりコミュニケーション能力が伸びていくことを期待している。

○ 平成28年度においては、不登校児童生徒の学校復帰へ向けての学習支援等や、中学3年生の進路指導など、保護者、学校及び関係機関と連携を持ち、確実な進路決定に向けた指導支援を行うことができている。その成果の一つとして、平成28年度末時点で、全ての生徒が進路を決定できたことは評価できる。

○ 美術館の利用状況について、年間を通して見ると、多くの来館者がいるようだが、今後、更なる情報発信を行い、誘客に努めることも重要である。

○ 生涯学習の拠点である各地域の公民館においては、かなりの数の教室が開催されており、充実していると感じ取れる。ただし、活動への参加者が一定の層に固定化されている傾向

が見られるので、世代や性別に関係なく活動に参加でき、絆を深める場所となるよう期待する。

- 教育委員会は、教職員、指導者の一人ひとりの能力を伸長する研修を行っている。今後の教育・学習活動のさらなる質的向上が期待される。

参考資料1

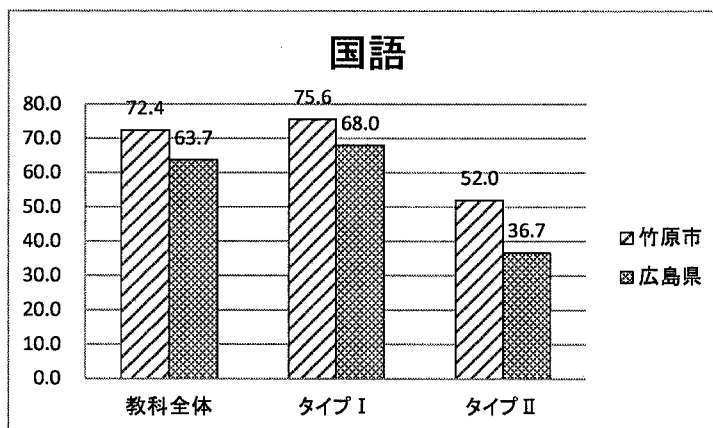
平成28年度の調査結果は次のとおりです。市内各校はそれぞれの結果を基に、改善計画を立て、一層の学力向上に取り組んでおります。詳細につきましては、各校のホームページ等をご覧ください。

実施日：平成28年6月7日(火) 実施対象学年：小学校第5学年，中学校第2学年 実施教科：小学校(国語，算数，理科)中学校(国語，数学，理科，英語)

平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【小学校】

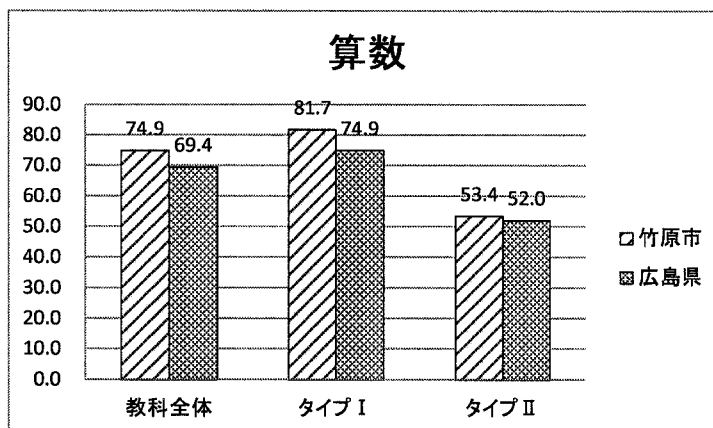
国語

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	72.4	75.6	52.0
広島県	63.7	68.0	36.7



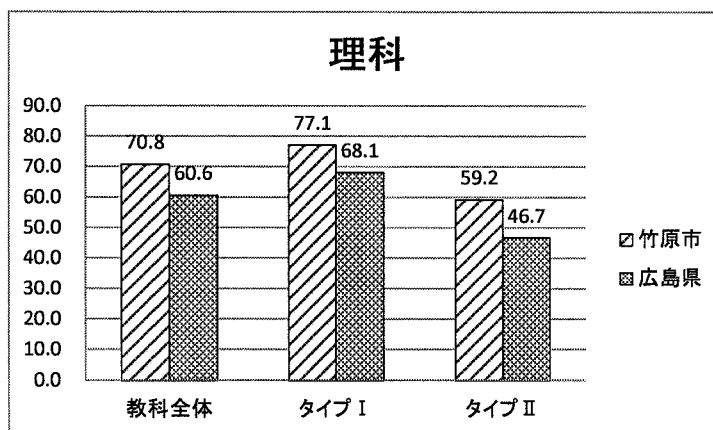
算数

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	74.9	81.7	53.4
広島県	69.4	74.9	52.0



理科

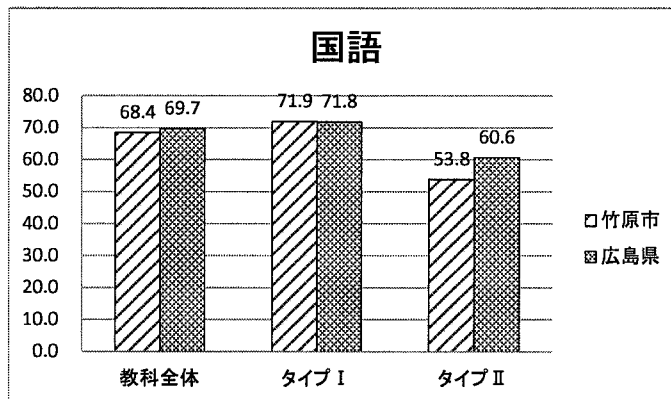
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	70.8	77.1	59.2
広島県	60.6	68.1	46.7



平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【中学校】

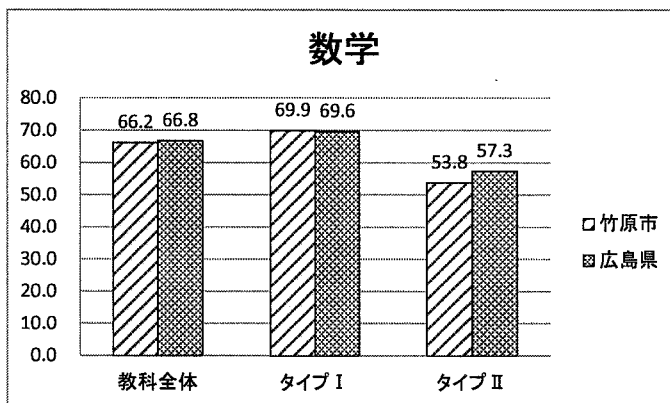
国語

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	68.4	71.9	53.8
広島県	69.7	71.8	60.6



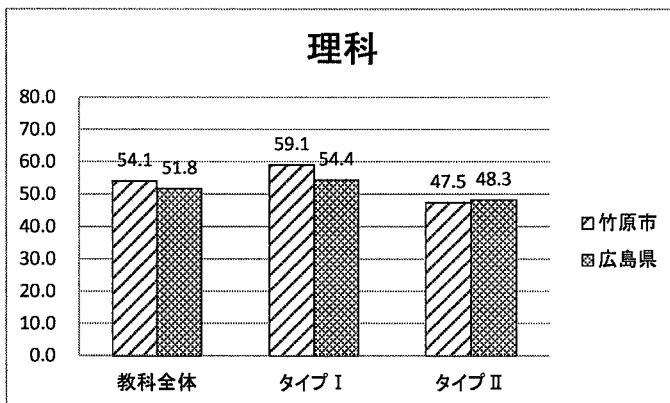
数学

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	66.2	69.9	53.8
広島県	66.8	69.6	57.3



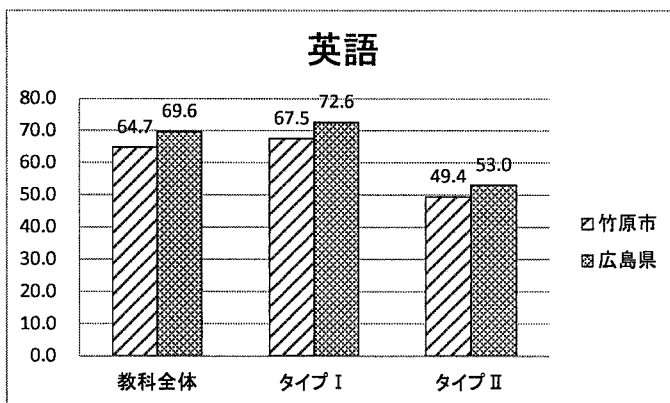
理科

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	54.1	59.1	47.5
広島県	51.8	54.4	48.3



英語

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	64.7	67.5	49.4
広島県	69.6	72.6	53.0



平成28年度体力テストの結果

小学校第5学年 小学校第5学年男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
H28竹原市	19.03	22.52	36.33	44.82	62.94	9.15	155.18	23.27	59.15
H27竹原市	18.48	21.60	35.43	45.74	59.40	9.21	148.04	25.00	57.75
H28広島県	16.82	21.33	33.92	44.58	56.08	9.22	155.52	24.49	56.61
H27全国	17.12	20.64	33.48	43.82	56.48	9.29	154.30	23.91	56.10

小学校第5学年女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
H28竹原市	19.20	22.19	42.48	43.51	50.06	9.40	153.32	15.94	62.55
H27竹原市	18.57	22.98	40.46	44.72	48.74	9.37	148.92	16.25	61.69
H28広島県	16.48	20.45	38.26	42.61	45.07	9.49	149.21	15.19	58.35
H27全国	16.58	19.24	38.39	41.76	44.45	9.50	147.35	14.41	57.55

中学校第2学年 中学校第2学年男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(秒)	(回)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
H28竹原市	31.89	30.93	48.86	54.79	387.60	83.82	7.79	197.18	19.79	46.29
H27竹原市	30.91	28.48	46.20	53.12	363.38	78.60	7.94	192.43	21.18	43.31
H28広島県	29.63	28.61	45.36	54.09	389.69	86.27	7.87	198.97	21.19	44.03
H27全国	29.66	28.09	43.79	53.28	381.74	90.29	7.84	196.97	21.32	43.39

中学校第2学年女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(秒)	(回)	(秒)	(m)	(点)	点
H28竹原市	27.06	29.25	52.08	49.69	327.20	61.22	8.69	180.61	13.31	56.97
H27竹原市	25.13	24.06	47.16	47.64	303.58	51.63	8.87	166.02	13.98	50.21
H28広島県	24.14	24.70	47.47	48.16	292.68	58.93	8.74	172.03	13.61	51.57
H27全国	24.00	24.01	45.39	47.38	285.66	61.07	8.74	171.29	13.41	50.83

平成25年度～28年度 生徒指導上諸問題の状況

暴力行為		竹原市		広島県	
		発生 件数	1000人 あたり	発生 件数	1000人 あたり
小学校	H25	4	3.2	373	2.5
小学校	H26	9	7.4	540	3.6
小学校	H27	1	0.9	469	3.1
小学校	H28	4	3.5		
中学校	H25	11	15.9	891	12.5
中学校	H26	18	28.8	849	12.0
中学校	H27	3	5.1	647	9.2
中学校	H28	11	19.4		

いじめ		竹原市		広島県	
		認知 件数	1000人 あたり	認知 件数	1000人 あたり
小学校	H25	5	4.0	529	3.5
小学校	H26	6	4.9	749	5.0
小学校	H27	2	1.7	742	5.0
小学校	H28	1	0.9		
中学校	H25	4	5.8	414	5.8
中学校	H26	6	9.6	582	8.2
中学校	H27	4	6.8	532	7.6
中学校	H28	2	3.5		

不登校		竹原市		広島県	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	H25	9	0.72	640	0.42
小学校	H26	8	0.65	708	0.47
小学校	H27	4	0.34	673	0.45
小学校	H28	3	0.27		
中学校	H25	25	3.62	1815	2.54
中学校	H26	18	2.88	1814	2.56
中学校	H27	22	3.73	1829	2.60
中学校	H28	22	3.9		

参考資料 3

図書館・美術館利用状況

(1) 竹原書院図書館利用状況

本館・視聴覚ライブラリー開館日数 276日
 移動図書館車 96日
 平成28年度 図書の利用

		本館	移動図書館	合計
個人貸出	登録者数	14,719	—	14,719
	貸出者数	27,990	7,364	35,354
	貸出冊数	133,102	28,850	161,952
団体貸出	登録団体数	254	—	254
	貸出冊数	10,531	34,232	44,763
停本所	停本所数	13	—	13
	貸出冊数	10,890	—	10,890
貸出冊数合計		154,523	63,082	217,605

(2) 美術館利用状況

アートギャラリー・池田コレクション

区 分		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
年間開館日数		281日	270日	259日	
展覧会件数		5件	6件	5件	
総入場者数		4,767人	5,746人	2,876人	
展覧会平均入場者数		1,052人	958人	575人	
展覧会入場者	1日平均入場者数	17人	21.3人	11.1人	
	常設展	件数	3件	4件	4件
		開館日数	244日	204日	254日
		入場者数	2,168人	2,434人	2,485人
		1日平均入場者数	8.9人	11.9人	9.8人
	企画展	土日祝日平均入場者数	10.8人	16.4人	13.3人
		件数	2件	2件	1件
		開館日数	37日	66日	5日
		入場者数	2,599人	3,312人	391人
	1日平均入場者数	70.2人	50.2人	78.2人	

文化創造ホール

区 分		平成28年度	平成27年度	平成26年度
利用日数		137日	130日	126日
展示会		76日	48日	43日
文化講演・講座		0日	9日	7日
演奏会等		0日	2日	1日
参加型イベント		5日	4日	2日
講習会等		31日	32日	26日
展覧会等準備日数		25日	35日	27日
利用件数		44件	55件	47件
年間入場者数		8,060人	9,466人	11,247人
1日平均入場者数		58.8人	72.8人	89.3人

たけはら美術館

平成28年度 年間利用者数

12,827人 (昨年度比 2,385人減)